

校長 石川

今学期は遠足・体育祭・木曜日の7校時・テストが終わると・文化祭の計画・修学旅行の準備など、学習活動とともに学校行事が凝縮し、皆さんにとってとても忙しい思いをした学期だっと思います。よく頑張った自分を一旦ほめてあげてください。それは私たち教職員の皆さん・学校周りの環境整備をしてくださっている技能員さんも同じ、熱い中、本当にありがとうございます。

忙しいという漢字の「ぼう」は心をなくすと書きます。明日から始まる夏季休業では、ぜひ心の安心感を取り戻して、「自分も大切、周りも大切」改めて周囲の物事に対しても、大切に考えてほしいと思います。そこで、一つの実践のご提案それは、「他人の悪口を言わない」です。自分だけの価値観で、状況を知らない他人に対して、自分勝手に悪口をいえるのでしょうか。本日配布される資料には相談できる場所はたくさんあります。SNS等で発信する前に、相談の検討をしてください。

来週末からパリでオリンピックが始まりますが、応援している選手に期待した結果が出なかったとしても、拍手を送れる人であってほしいですね。保土ヶ谷球場で最後の最後まで、大きな声を出し続けていた足高生なら大丈夫だと思うけど。

さて、本日、担任の先生から、北朝鮮当局によって拉致されたご家族を持つ横田拓也さんから、県立高校生に向けたメッセージ動画の案内が配付されたと思います。下記休業期間に二次元コードから入ってぜひとも動画視聴をしてみてください。

高校生の皆さんにとっては生まれる前の話であるため、重大な人権侵害で国家間の問題である拉致問題が忘れられてしまうことに私としては危機感を感じています。この動画をきっかけとして、様々な人権に関する課題について考えてほしいと思います。

心の優しい足高生なら、「人権を尊重する」とは、どういうことか知ってるよね。文部科学省のHPでは、人権の尊重とは、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」と記載されています。大切とは、かけがえのないものとして心を配り、丁寧に扱うさま。(大事)とも言い換えられます。

「軽いノリ」。明るい足高生によく感じられる雰囲気です。しかし、集団で一人の人をいじる。歩道や車道を広がって歩き対向車や人に道を譲らない、このような行為は自分中心で他人を大切にしない人の行動であり、足高生にふさわしくない。

足高生は「自分も大切、周りも大切」にする学校であってほしいと思いを込め、この時間のお話を終わります。8月26日(月)に元気な姿でまた会いましょう。 以上です。